



山形本社工場・縫製現場写真

- 本社所在地：山形県南陽市
- 事業概要：アパレル製品縫製製造業
- 常時使用する従業員：95名（2026年1月時点）
- 現在の売上高：23億円（2025年9月期）
- 法人番号：2150001001526
- Web：<https://nakano-apparel.co.jp/>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
中野一憲

## サステナブル縫製工場が、ものづくり文化にイノベーションを起こす

ナカノアパレルは、サステナブル縫製工場としての取り組みを通じて、ものづくり文化にイノベーションを起こすことを企業理念に掲げています。環境への配慮だけでなく、技術の継承、人の成長、そして持続可能な経営を同時に実現することが、私たちの使命です。山形本社工場を技術中枢とし、中国・ベトナム拠点と連携する国際分業体制を構築することで、日本品質を世界へ展開する持続可能な縫製産業モデルの確立を目指しています。売上高100億円の達成は単なる規模拡大ではなく、地域社会への貢献、社員の成長と待遇改善、そして日本のものづくり基盤の強化を同時に実現するための通過点であると考えています。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

#### サステナブル縫製基盤を核とした構造転換

当社はOEM事業を基盤に、M&Aを軸としたブランド事業を拡大し、事業構造の高度化を進めます。2036年に売上高100億円を達成し、2038年には110億円規模への成長を目指します。単なる規模拡大ではなく、高付加価値型企業グループへの転換を図ります。

### 課題

- ・熟練技能に依存しない生産体制の構築
- ・グローバル拠点間での品質・技術水準の統一
- ・人材育成と長期定着を前提とした組織づくり
- ・環境配慮・トレーサビリティ対応への継続的投資
- ・OEM中心から高付加価値型ビジネスへの転換

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・設備投資による標準工程・省人省力化体制の確立
- ・生産管理DXによる品質・納期・原価の可視化
- ・海外拠点との技術循環モデルの深化
- ・海外（東南アジア）におけるブランド事業の開発
- ・M&Aやブランド事業による付加価値創出
- ・防災・環境分野など社会課題対応型事業への展開

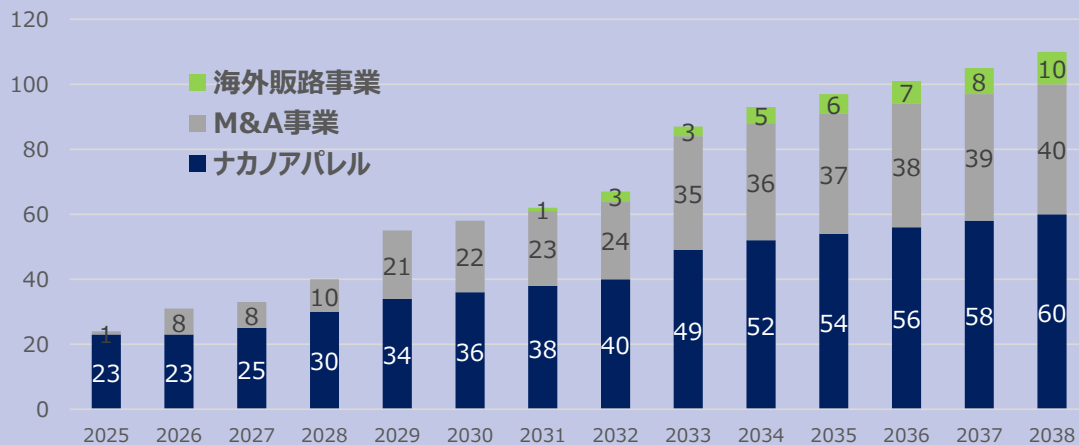
### 実施体制

- ・代表取締役社長をトップとした成長投資推進体制
- ・山形本社工場を中枢としたグローバル技術連携体制
- ・海外拠点と連動した人材育成・設備投資計画の実行
- ・外部パートナー・行政機関との連携による支援施策活用

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 目標と事業構成の推移

	ナカノアパレル	M&A事業	海外事業	合計
2026	23	8		31
2028	30	10		40
2030	36	22		58
2032	40	24	3	67
2034	52	36	5	93
2036	56	38	7	101
2038	60	40	10	110



○法人番号：2150001001526（ナカノアパレル社）

### ①売上高100億円実現の目標

当社は、OEM事業による安定収益基盤を維持・強化しながら、M&Aを基軸としたブランド事業の拡大により収益構造を高度化します。ブランド事業は、既存子会社および今後取得予定のブランドを包含する事業セグメントとして運営し、国内外市場での高付加価値展開を推進します。2036年に売上高100億円を達成し、2038年には110億円規模への成長を計画しています。本計画は、グループ一体での持続的成長を前提とした中長期成長戦略です。

### ②課題

- ・OEM依存度の最適化
- ・ブランド事業のスケール拡大
- ・M&A後の統合マネジメント体制構築
- ・グループ内生産機能とのシナジー最大化
- ・資金調達・投資回収の高度化

### ③売上高100億円実現に向けた 具体的措置目指す成長手段

- ・OEM事業の生産性向上と高付加価値化
- ・ブランド事業におけるM&Aの段階的実行
- ・取得ブランドの経営統合および再成長支援
- ・グループ生産拠点との垂直統合モデル確立
- ・海外市場展開の加速
- ・B to G（政府向け事業）の確立と安定収益

### ④実施体制

代表取締役社長をトップとする成長投資委員会を設置し、OEM事業とブランド事業を両輪とした経営を実行します。M&Aは財務・法務・事業統合の専門体制を整備し、取得後のPMI（経営統合）を計画的に推進します。